丁巳のとし

春興

小野素郷

山川もみちのおくへ初霞　西明

若草よ花につゝくよ霞せよ　其山

朝ふかうひきかへし柳かな　新子

うくや既音の鄰うこかゝる　湖由

陽氣ことし若菜あかたち雨上り　加歩

雨白ふえてあらう風中むつ　女

花ものひぬさくら哉緑の張抛織　柳季

ゆけいれ六の玉川のかすみ哉　北紀

湊なや舩ゝ隅へ飛ゞ鳥の聲　古介

咲あてし菜の花よ嫁一雨　等枝

解かゝる氷の音や芦の雉　李郎

石山や月の残りの花ゑても　貴揚

手堀て小鍋の桜あし

柳さし風　春亭

京御小路松上 津田傳藏版

津田傳藏版